

	1日	1ヶ月	1年
入り（売上）	客単価〇円×人＝〇円	1日×稼働日数	1ヶ月×12ヶ月
出る（費用）	売上の〇%が原価	1日×稼働日数	1ヶ月×12ヶ月
（まとめて）		・人件費 ・水道光熱費 ・家賃 ・広告宣伝費	1ヶ月×12ヶ月
差額・計		1ヶ月間の儲け（利益）	年間の儲け（トータルの利益）



毎月の返済額を返せるか？



年間の返済額を返せるか？

※ ここで毎月の返済額（元金と利息）を計算しておきます。（少し面倒ですが頑張ってください）

【元金】もし300万円を5年または7年で返すという希望なら

300万円÷5年÷12ヶ月＝5万円…単純ですからそのままOK（希望どおりなら）

300万円÷7年÷12ヶ月＝35,714円…これは端数が出るので…毎月36,000円にして最終回を12,000円にする、というパターン  
 （300万円－35,000円×83回（6年と11ヶ月分）＝12,000円から計算）

※応用形・・・もし半年間とか3ヶ月間とか「据置期間（利息だけで返済を待ってもらえる期間）」があれば回数が減ります。

⇒ 5年借りるけど、半年間は据置期間だとすると・・・5×12ヶ月－6ヶ月＝54回で返済し終わる必要があります。となると・・・

300万円÷54ヶ月＝55,555円で端数が出るので…毎月56,000円×53回＋最終回32,000円という形が自然になります。

では、利息の計算です。3%で計算することにします。(今のご時世、2.5%で計算してもいいかも知れませんが…)

※注意点・・・普通の個人ローンの場合は元利均等方式が多いので毎月の元金+利息は同じ金額になりますが、この手の事業性の計画を作る時には元金均等方式で計算の方がおススメです。

【利息の計算・・・(基本形) 300万円を毎月5万円ずつ返済するパターン】

・スタート時の残高 300万円・・・1年後の残高 300万円-5万円×12ヶ月=240万円 なので平均値を出します。  
(300万円+240万円) ÷ 2 × 3% = 81,000円・・・これが1年間(初年度)の支払い利息になります。

あと同じように・・・2年目は240万円⇒180万円に残高が推移しますので・・・

(240万円+180万円) ÷ 2 × 3% = 63,000円・・・これが2年目での1年間分の利息となります。

【応用・300万円を毎月5万6,000円ずつ返済するパターン(半年間の据置期間がある場合)】

・スタート時の残高は300万円(半年間続く)、7ヶ月目から5万6,000円ずつ返済で1年後は33万6,000円返す形なので270万円が残高。

なので、2段階で計算します。

・最初の6ヶ月間は・・・(300万円+300万円) ÷ 2 × 3% ÷ 12ヶ月 × 6ヶ月 = 45,000円・・・最初の半年間

・次の6ヶ月分は・・・(300万円+266万4,000円) ÷ 2 × 3% ÷ 12ヶ月 × 6ヶ月 = 42,480円・・・後半の半年間の利息  
合計で 45,000円 + 42,480円 = 87,480円・・・1年間の合計

・以下、同じように2年目、3年目と計算していきます。

※これを長期収支予想に転記していきます。

【参考までに】さらなる応用（ただし、これは無視して構いません）

1年目は8月からスタートするけど申告の関係で12月で締めて、翌年は1月～12月までの1年という感じで計画を作る場合。  
さらに、300万円借りた時に6ヶ月間の据置期間が生じる場合などです。  
（前述のように53回×56,000円＋最終回32,000円）

	1年目（8月～12月まで）	2年目（1月～12月まで）	3年目（1月～12月まで）
	5ヶ月間の稼働	12ヶ月間の稼働	12ヶ月間の稼働
元金の返済が6ヶ月間据置		2月から返済開始	
元金の残高ベース	12月末は300万円のまま	1月末は300万円 2月末は $300 - 5.6 = 294$ 万4千円 12月末は $300$ 万円 $- 5.6 \times 11$ ヶ月 $= 238$ 万4千円となる	
利息の計算ベース	300万円のまま×5ヶ月分の利息	1ヶ月分は300万円で計算 2月～12月分は残高の平均を出して その11ヶ月分の利息を計算する	



とんでもなく面倒（さらに修正が入れば・・・）

**単純に、1年目、2年目、3年目で（12ヶ月ベースで）計画を作ることを強くおすすめします。**

**半年間の据置期間は銀行に要請してもOKです。お願いするだけです。**

試しに、計算した数字を長期収支予想に入れてみます。

5年間で300万円を返す、ただし6ヶ月間の据置期間あり、のケースです。

これまでの計算例から下記の表は埋めることができるはずですが、

	1年目スタート	2年目スタート この前日が1年目の最終日	3年目スタート この前日が2年目の最終日	4年目スタート この前日が3年目の最終日	5年目スタート この前日が4年目の最終日
元金推移（残高）	300万円	266万4,000円	199万2,000円	132万円	64万8,000円
1年間の返済額		33万6,000円	67万2,000円	67万2,000円	※67万2,000円
1年間の支払利息		87,480円	69,840円	49,680円	29,520円
（利息の根拠）	ここの欄の数字はその前の年1年分の利息となっています。誤解のないようにしてください。	・300万円が半年 ・300万円と266万4,000円との平均が半年 ・その合計	266万4,000円と199万2,000円の平均×3%	199万2,000円と132万円の平均×3%	132万円と64万8,000円の平均×3%

※機械的に56,000円×12ヶ月とすると…最後の年は67万2,000円を返すことになりませんが…そもそも最後の1年を迎える時の残高は64万8,000円でしたのでそれを上回ることはありませんね。

※ですから、上の表の（5年目スタート時点のそれから1年間の返済額が）67万2,000円になることはありません。

この数字を長期収支予想に入れ込みます。

名前 ○○○○

○○売上推移予想

(千円)

	1年目 (20**/11~20**/10)		2年目 (20**/11~20**/10)		3年目 (20**/11~20**/10)		4年目 (20**/11~20**/10)		5年目 (20**/11~20**/10)		※11月スタート翌年10月締めの場合
	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	
総売上高	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	
(○○)		%		%		%		%		%	
(○△グッズ売上)		%		%		%		%		%	
(○△○サービス)		%		%		%		%		%	
( )		%		%		%		%		%	
対前年伸率	-	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
売上総利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
(○○)		%		%		%		%		%	
(○△グッズ売上)		%		%		%		%		%	
(○△○サービス)		%		%		%		%		%	
一般管理販売費	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
人件費(役員報酬)		%		%		%		%		%	
水道光熱費		%		%		%		%		%	
減価償却費		%		%		%		%		%	
家賃		%		%		%		%		%	
広告宣伝費		%		%		%		%		%	
出張・旅費等		%		%		%		%		%	
(保険・その他)		%		%		%		%		%	
営業利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
営業外収益		%		%		%		%		%	
- 受取利息		%		%		%		%		%	
営業外費用		%		%		%		%		%	
- 支払利息	87,480	%	69,840	%	49,680	%	29,520	%	9,720	%	
- 税金利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
特別利益		%		%		%		%		%	
特別損失		%		%		%		%		%	
税引前当期利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
- 法人税等充当額		%		%		%		%		%	※税金考慮せず
当期純利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
減価償却費		%		%		%		%		%	
償却前利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
年間返済額	336,000		672,000		672,000		672,000		648,000		※借金返済後の余剰が借け=生活費

さあ、それでは「入り」と「出る」を見ていきます。借金を返済できるかどうかの数字になりますから重要です。

#### ■ 入り

- ・商品 A・500 円が、毎日、または月に○個売れる。
- ・商品 B・1,000 円が、毎日、または月に□個売れる。という感じで…できれば積み上げてください。

もの凄い数になる時は、メインの商品を計算して、あとは「その他の商品」でまとめて記載する方がいいかと思います。

- ・平均の客単価が 800 円と予想されるので 1 日 100 人来店されるとして… $800 \text{ 円} \times 100 \text{ 人} = 8 \text{ 万円}$ でも大丈夫です。

#### ■ 出る

・商品 A、B とわけて計算したらその分の原価は別々に計算した方がいいと思います。A は 50% が原価、B は 30% が原価、というやり方になります。

- ・これは売上の何%が粗利（売上総利益）だと計算するやり方でも構いません。全体の売上×原価（例えば 40%）を掛けて、60%が粗利（売上総利益）だとするやり方です。一つの目安だととらえてください。

- ・その他の「出る」は月単位でとらえた方がいいかと思います。
- ・人件費、バイト代、水道光熱費、運賃、ネット代などの通信費、荷造り包装費（段ボール代等）、広告宣伝費…等々

- ・それと毎月、または年間の（借入）利息や（1 年間の）税金なども計算に入れて算出します。

※ここまできると、毎月の儲け（利益）が計算できます。ワクワクするか、ドキドキ・ハラハラするか、です。

	1日	1ヶ月	1年
入り（売上）	客単価〇円×人＝〇円	1日×稼働日数	1ヶ月×12ヶ月
出る（費用）	売上の〇%が原価	1日×稼働日数	1ヶ月×12ヶ月
（まとめて）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費</li> <li>・水道光熱費</li> <li>・家賃</li> <li>・広告宣伝費</li> </ul>	1ヶ月×12ヶ月
差額・計		1ヶ月間の儲け（利益）	年間の儲け（トータルの利益）

これを思い出して数字を入れていきます。

名前 ○○○○

○○売上

試しに1ヶ月分と次の列に1年分を記入

	1年目 (20**/11~20**/10)		2年目 (20**/11~20**/10)		(20**/						場合
総売上高	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	
(○○)		%		%		%		%		%	
(○△グッズ売上)		%		%		%		%		%	
(○△○サービス)		%		%		%		%		%	
( )		%		%		%		%		%	
対前年伸率		%		%		%		%		%	
売上総利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
(○○)		%		%		%		%		%	
(○△グッズ売上)		%		%		%		%		%	
(○△○サービス)		%		%		%		%		%	
一般管理販売費	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
人件費(役員報酬)		%		%		%		%		%	
水道光熱費		%		%		%		%		%	
減価償却費		%		%		%		%		%	
家賃		%		%		%		%		%	
広告宣伝費		%		%		%		%		%	
出張・旅費等		%		%		%		%		%	
(保険・その他)		%		%		%		%		%	
営業利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
営業外収益		%		%		%		%		%	
受取利息		%		%		%		%		%	
営業外費用		%		%		%		%		%	
支払利息		%		%		%		%		%	
経常利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
特別利益		%		%		%		%		%	
特別損失		%		%		%		%		%	
税引前当期利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
法人税等充当額		%		%		%		%		%	※税金考慮せず
当期純利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	
減価償却費		%		%		%		%		%	
償却前利益	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	※借入金返済後の金額が借入=生活費
年間返済額		%		%		%		%		%	

名前 ○○○○

○○売上推移予想

1年分を3年目に記入

2年目はその90%

1年目は80%で作成します

	1年目 (20**/11~20**/10)		2年目 (20**/11~20**/10)		3年目 (20**/11~20**/10)		4年目 (20**/11~20**/10)	
総売上高	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%
(○○)		%		%		%		%
(○△グッズ売上)		%		%		%		%
(○△○サービス)		%		%		%		%
( )		%		%		%		%
対前年伸率	-	%		%		%		%
売上総利益	0	%	0	%	0	%	0	%
(○○)		%		%		%		%
(○△グッズ売上)		%		%		%		%
(○△○サービス)		%		%		%		%
一般管理販売費	0	%	0	%	0	%	0	%
人件費(役員報酬)		%		%		%		%
水道光熱費		%		%		%		%
減価償却費		%		%		%		%
家賃		%		%		%		%
広告宣伝費		%		%		%		%
出張・旅費等		%		%		%		%
(保険・その他)		%		%		%		%
営業利益	0	%	0	%	0	%	0	%
営業外収益		%		%		%		%
受取利息		%		%		%		%
営業外費用		%		%		%		%
支払利息		%		%		%		%
経常利益	0	%	0	%	0	%	0	%
特別利益		%		%		%		%
特別損失		%		%		%		%
税引前当期利益	0	%	0	%	0	%	0	%
法人税等充当額		%		%		%		%
当期純利益	0	%	0	%	0	%	0	%
減価償却費		%		%		%		%
償却前利益	0	%	0	%	0	%	0	%
年間返済額		%		%		%		%

※税金考慮せず

※借入金返済後の余剰が借入＝生活費



## 【まとめ】

■あとは、全体的に長期収支予想表をながめてみて・・・不自然なところがないかどうか、をチェックします。

■知らない「項目」は空欄で構いません。たとえば・・・

受取利息・・・銀行にたくさん預金があって利息が入ってくる人は記入してください。普通は空欄です。

特別利益・特別損失・・・無視（空欄）で構いません。

法人税等充当額・・・空欄で大丈夫です。右端の「摘要欄」に「税金考慮せず」と書いておけばOKです。

もちろん機械的に40%という金額を見積もっても構いませんけど・・・銀行側に任せましょう。

減価償却費・・・無視で構いません。大型の機械などを導入して毎年経費として減価償却費を計上するという人は記入してください。

サラリーマン・主婦の方が【担保なし】【保証人なし】で進める場合は無視しても構いません。

（もし、銀行の担当者から指摘されたら教えてもらいながら数字を入れていけば大丈夫です）

当然に償却前利益は「当期純利益」をそのままスライドさせて記入すればOKです。

あとは・・・

この下から2行目の数字が、一番下の行の数字よりも上回っていて、かつ生活していける水準であれば・・・それを一応の完成形として仕上げてください。

副業なら生活費を計算に入れる必要はありませんけど、もしこの下から2行目の数字で生活費もまかなう、さらに家族も養う、となればそれなりの数字になっていないと銀行はノーということになります。

なので、ここまで出来あがった段階で「あーでもない、こーでもない」と再検討することになります。

もちろんこの時点まで到達した際に、ご相談していただいても構いません。どうぞよろしく願いいたします

**あなたの夢の実現を心よりお祈りいたしております。**

ここまで本当にありがとうございました。